岩盤ボーリング柱状図

調査名　一般県道　竹原吉名線　道路改良事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　道路　掘削・掘削のり面

ボーリング名	B-12	調査位置	竹原市吉名町掛之浦	北緯	34° 19' 25.3623"
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所	調査期間	令和3年 2月13日～ 令和3年 2月16日	東経	132° 52' 39.6393"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 18.32m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南
総削孔長	10.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DM-03R / エンジン：ヤンマーTF90M / ポンプ：東邦BG-2R

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率(%) / 最大コア長(cm) / RQD(%)	記事	孔内水位/測定月日
1			Gp	花崗斑岩	茶褐～灰褐～褐灰	w5	h4	E	VI	d	D	0[ ] 0[100]	GL-0.2m以浅は表土で腐植物や木根を混入する。 GL-0.3m以深は岩組織が認められる。 指圧で容易に砕け、シルト混じり細砂～粗砂状を呈する。 GL-1.5～1.6m付近に硬質な岩片が残留している。 GL-4.0～5.0m付近は中～粗砂状を呈し、径2～5mm程度の硬質な石英・長石粒子を認める。 岩級区分:DL(砂質土)	
2												0[ ] 0[100]		
3												0[ ] 0[100]		
4												0[ ] 0[100]		
5	13.32	5.00										0[ ] 0[100]		2/18 8:21
6			Gp	花崗斑岩	褐灰～淡橙灰	w4	h3	E	VI	d	D	0[ ] 0[100]	指圧により砕け、中砂～礫混じり粗砂状を呈する。 GL-7.4m付近に60°程度の明瞭な亀裂が認められる。 亀裂面は褐色を呈する。それ以深はやや硬質となるがハンマー軽打で容易に砕ける。 岩級区分:DH(軟岩I)	
7												0[ ] 0[100]		
8	10.62	7.70										0[ ] 0[100]		
9	9.62	8.70	Gp	花崗斑岩	淡橙灰	w3	h3	C	III	c	CL	24[46] 0[100]	棒状～短棒状コアが主体。 全体に潜在亀裂が観られ、ハンマー軽打で割れる。 コア肌は粗く，亀裂面は褐色を呈する。 岩級区分:CL(軟岩I)	
10	8.32	10.00	Gp	花崗斑岩	暗橙灰～淡紫灰	w2	h2	B	II	b	CM	36[82] 0[100]	棒状～短棒状コアが主体。 非常に硬質でハンマー強打でようやく割れる程度。 コア肌は滑らか。亀裂面に沿って僅かに褐色を帯び、亀裂面は褐色を呈する。 岩級区分:CM(軟岩II)	
11														
12														
13														
14														
15														

標準貫入試験 N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
25	1.15	25 / 300					2/13		66/ケーシング	5打込み					
	1.45														
36	2.15	36 / 300								D/MC					
	2.45														
25	3.15	25 / 300													
	3.45														
30	4.15	30 / 300													
	4.45						2/15								
50以上	5.15	50 / 220	220												
	5.37														
50以上	6.10	50 / 200	200												
	6.30														
50以上	7.10	50 / 130	130												
	7.23														
50以上	8.00	50 / 30	30						66	D/DB					
	8.03														
50以上	9.00	貫入不能					2/16								

深度－N値図